

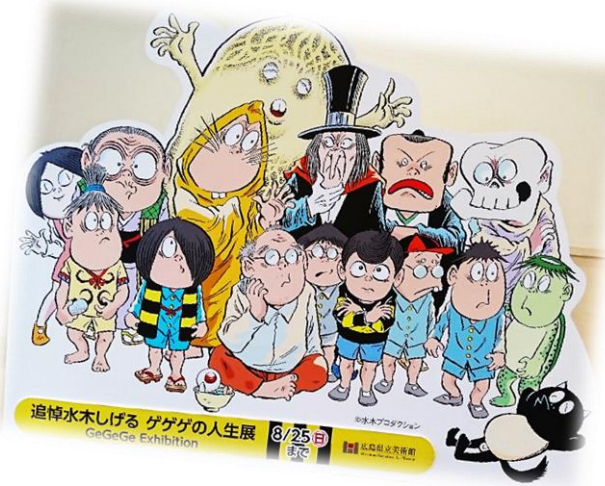


あくさんぽ(^^) まいど~VOL. 32 県立美術館編

by あくたがわ

お盆明けの休日、「あくさんぽ」のネタ探しに、ネットで調べて美術館にお出かけしました。モネ、ゴッホやピカソの特別展が「ゲゲゲの人生展」か迷ったが、有名画家の絵画はよく分らんので、水木しげるの「ゲゲゲの人生展」に行くことにしました。鬼太郎誕生の物語みたいなのがたくさんスケッチや漫画で説明されています。相当な量の展示品で、後で調べたら390点もあったみたいです！1点ずつ読みながら回ったらたっぷり1時間経っていました。いつか、境港の「水木しげるロード」に行ってみようかな。あっちの方が面白そうかも。遠いのでまだ行ってませんので、次回行きたい場所の候補にします。

外はあいにくの豪雨で隣の縮景園はさすがに人影がありません。100円プラスで縮景園に入れますと書いてあるが、傘をさしてもずぶ濡れになりそうな雨の量なのでやめます。入場料が1,300円は知っていたんですが、駐車場の900円は考えてなかったもので、ついでに広島美術館行ってピカソとも思ったがやめました。腹が減ったんで家に帰って昼飯にします。家の掃除もせにやいけんで(^^;)



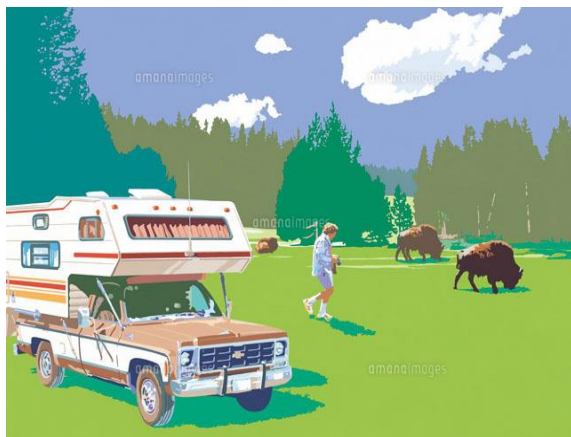
←水木しげる貧乏時代の居間再現コーナー

社長の趣味より



「最近のキャンピングカー事情」

その②



近年のキャンピングカーの特徴はレンタルが増えている事ですが、問題もあります。キャンピングカーを借りても停めて泊まれる場所が少ないのです。よく利用されるのはオートキャンプ場や道の駅ですが、オートキャンプ場は数が限られているし、道の駅は夜間、照明が点いておらず見つけられない、トイレが利用できないなど宿泊できないケースが少なくないのです。訪日外国人向けの情報発信、体験コンテンツを企画するNPO法人を主催している宮下晃樹氏がその問題解決のために思いついたのが、車中泊可能な場所のマッチングアプリ「Carstay」です。夜間使っていない駐車場や空地进行を登録してもらい、泊まりたい人がアプリ上で予約・利用するというもので、登録から予約、決算までをオンラインで行います。民泊と違い、部屋はもちろん、寝具など用意する必要もなく、現時点では旅館業法など該当する法律がないため、許認可も不要。遊んでいる土地が車1台分あり、駐車したところから500m以内に利用可能なトイレがあれば誰でもどこでも、簡単に始められるのが特徴です。しかも、このビジネス開始にあたり、三井住友海上火災保険が車中泊旅行者、車中泊事業者向けの保険を業界に先んじて開発し、自動的付帯する仕組みに。これにより、貸す側、借りる側とも安心して車中泊ができるようになりました。

つづく

諸永 雄三